



2020年12月7日
京都鉄道博物館

架線の安全を見守る「443系」を特別展示します



電気検測用の事業車「443系」

京都鉄道博物館では、JR西日本の営業路線と繋がった引込線を活用し、現役車両の展示を行っています。この度、JR西日本が保有する電気検測用の事業用車「443系」を特別展示します。

443系は走行しながら、電車に電気を供給する「架線」の状態を検測し、異常箇所の発見やメンテナンス計画のためのデータを収集します。旧国鉄時代に2編成が製造されましたが、現役で活躍を続けているのはこの1編成のみです。

ぜひこの機会に京都鉄道博物館にお越しください。

1. 展示期間 2020年12月19日(土)から12月22日(火)まで
2. 展示場所 本館1F「車両のしくみ/車両工場」エリア
3. 展示車両 443系(2両編成)

※営業線を運転して搬入するため、輸送上の都合により展示を中止する場合があります。